



**DX-8**

**SPEAKER SYSTEM  
OPERATING INSTRUCTIONS**

**取扱説明書**

# ●目次

◆安全上のご注意……………2-6	◆設置……………10
◆取り扱い上のご注意……………7	◆接続……………11
・設置の際のご注意……………7	・シングルワイヤリング接続…11
・外観仕上げについて……………7	・バイワイヤリング接続…12-13
・お手入れのしかた……………7	◆グリルネットの外し方…13
・その他のご注意……………7	◆保証とサービスについて…14
◆付属品……………8	◆仕様……………15
◆特長……………8	



## ●安全上の注意

### お客様へ

このたびは、性能、品質、及び仕上げと全ての点で弊社を代表する DX-8 スピーカーシステムをお買い求めいただきまことにありがとうございます。本機の性能を十分に引き出し、末長く楽しんでいただくため取扱説明書をよくお読みください。また、必要な時に参考に見ていただくために、この取扱説明書は大切に保管してください。

### ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

#### 【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## ●安全上の注意

### ⚠ 警告

#### ■ 安全上お守りいただきたいこと

	<p><b>設置は専門業者、または販売店にご依頼ください</b></p> <p>本機は十分な技術・技能を持つ専門業者が据付を行う事を前提に販売されているものです。設置は、必ず専門業者または販売店にご依頼ください。設置の不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本機は119kgの質量があります。持ち運びや開梱、作業は必ず3人以上で行ってください。</li><li>●万一、地震により本機が転倒した際に寝ている人にケガを負わせる恐れのある場所に設置しないでください。</li></ul>
	<p><b>万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く</b></p> <p>煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
	<p><b>水が入ったり、濡らしたりしないように</b></p> <p>雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>内部に異物を入れない</b></p> <p>バスレフダクト孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>

## ●安全上の注意

	<p><u>キャビネット（スピーカー）を外したり、改造したりしない</u></p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。</p>
	<p><u>落としたり、キャビネットを破損した場合は</u></p> <p>まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

## ■ 取り扱いについて

	<p><u>風呂・シャワー室では使用しない</u></p> <p>火災・感電の原因となります。</p>
	<p><u>この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない</u></p> <p>こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。</p>
	<p><u>この機器の上に小さな金属物を置かない</u></p> <p>万一内部に異物が入った場合は、まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

## ●安全上の注意

### ⚠ 注意

#### ■ 安全上お守りいただきたいこと

	<p><b>機器の接続は説明書をよく読んでから接続する</b></p> <p>アンプを接続する場合は、アンプの電源を切り、取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。</p>
	<p><b>電源を入れる前には音量を最小にする</b></p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>

#### ■ 置き場所について

	<p><b>不安定な場所に置かない</b></p> <p>落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。設置する場所は119kgの質量に十分に耐えられる強度を持つ、安定した水平で平面な床面である事を確認してください。</p>
	<p><b>次のような場所には置かない</b></p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ</li><li>● 湿気やほこりの多いところ</li><li>● 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所</li></ul>

## ●安全上の注意

	<p><b><u>長時間音が歪んだ状態で使用しない</u></b></p> <p>本機が発熱し、火災の原因となることがあります。</p>
	<p><b><u>この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない</u></b></p> <p>特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。</p>
	<p><b><u>重いものをのせない</u></b></p> <p>機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</p>
 	<p><b><u>移動させる場合は</u></b></p> <p>まずアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</p>

# ●取り扱い上のご注意

## ■設置の際のご注意

スピーカーシステムの音質は、部屋の大きさ・形態（洋室、和室）・設置のしかたなどの影響を受けやすいため、設置については次のことにご注意ください。

- 本機は直接床に設置して下さい。不安定な設置では不自然な音になるだけでなく、倒れたりしてけがの原因にもなります。
- 本機をレコードプレーヤーの近くに設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。
- 本機の近くにテレビが置かれている場合や、本機の近くに磁石もしくは磁石を備えた家具や器具などが置かれている場合、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生させる場合がありますのでご注意ください。
- 本機のスピーカーユニットには強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないで下さい。振動板を破損する恐れがあります。
- 本機を直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。天然木の収縮によるキャビネットの変形、変色及びスピーカーが故障する原因になります。

## ■外装仕上げについて

- 本機の表面には天然木材から作られた部材を使用しています。そのために色や柄は自然のままであり、他にひとつとして同じ色柄のものはありません。塗装や最終仕上げでは当社の厳しい品質基準で管理しておりますので、安心してご使用ください。

## ■お手入れのしかた

- キャビネットの汚れを拭き取る時は、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。  
※ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

## ■その他のご注意

- アンプにはいろいろなスピーカー出力端子があります。お使いになるアンプの取扱説明書で確認してください。
- アンプの音量を極端に大きくして歪んだ音のまま再生することは、アンプやスピーカーにとってダメージになる場合があります。適正な音量でお楽しみください。
- 本機を移動させる場合、グリルネット越しにスピーカー部表面に強い力を加えると、スピーカーを破損させてしまうことがありますので、ご注意ください。

## ●付属品

必ずご確認ください。

- ◆取扱説明書・・・・・・・・・・1冊
- ◆ショートバー・・・・・・・・・・2本
- ◆保証書・・・・・・・・・・1枚

## ●特長

- ◆無共振エンクロージャー
- ◆セラミック振動板ユニット（トゥイーター、ミッドレンジ）
- ◆ハニカム構造振動板ウーファー
- ◆バイワイヤリング対応入力端子
- ◆ウォールナット・バール突き板仕上げエンクロージャー

### ・無共振エンクロージャー

ユニットを取り付けるバッフル板は、100mmの極厚で、埋め込むかたちでユニットを取り付けています。さらに、エンクロージャー内部は5層の補強板でしっかりと補強されていることから、大音量時の内部音圧振動を有効に抑制し、エンクロージャーの振動によるノイズの発生を抑え、小音量から大音量まで均一で安定した音を再生します。

### ・外観

エンクロージャーの外装は、独特な木目の魅力から高級家具にのみに用いられる”ウォールナット・バール”（胡桃材の根元）突き板を採用して優雅に仕上げられています。

### ・トゥイーターとミッドレンジユニット

トゥイーターとミッドレンジにはセラミック振動板のユニットを採用しています。セラミック振動板は、音の伝達スピードが9700m/s（空気の約27倍）と高く、セラミック素材の剛性とあいまって、歪の少ない明瞭な音声を再生します。

### ・ウーファーユニット

十分な低音を再生するには面積の大きな振動が必要です。大きなウーファーは重くなり、動きが鈍くなってしまうため、口径を抑えたユニットの並列駆動方式を採用しています。さらに、軽量化と剛性を両立させたハニカム構造振動板ユニットによって低音部の一瞬の動きにも反応する表情豊かな低音部を再生します。

### ・バイワイヤリング対応入力端子

低音部と高音部を分けて個別に駆動する再生方式に対応してバイワイヤリング対応端子を採用しています。端子はΦ22mmの大型で、ダブルナット構造にすることでYラグ端末、バナナプラグ端末の何れでも確実に接続できます。

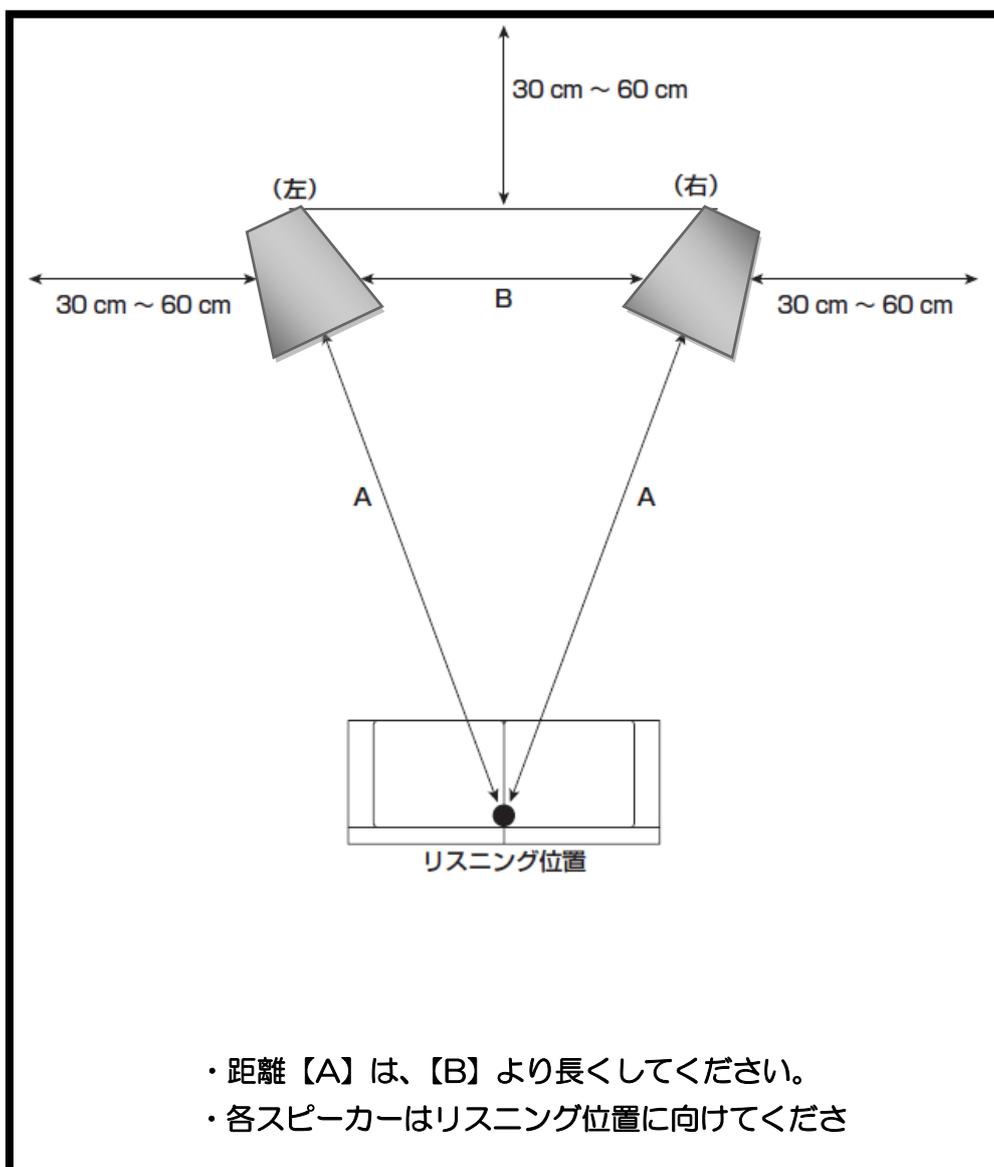
### ・ネットワーク

電流ロスと歪の発生を最小限に抑えるため、ネットワークコイルには空芯で高純度の銅箔リボンコイルを採用しています。

## ●設置

- ◆スピーカーは、左右対称に置いて下さい。
- ◆スピーカーとお客様の位置関係が図のように設置すると、良好なステレオ効果が得られます。
- ◆壁側から 30 cm 以上離して設置して下さい。

※スピーカーを移動、設置する際は床にキズがつく恐れがありますので、必ず本機の下に布などを敷いてから作業を行ってください。



## ● 接続

接続の際はアンプの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

※スピーカーシステムをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

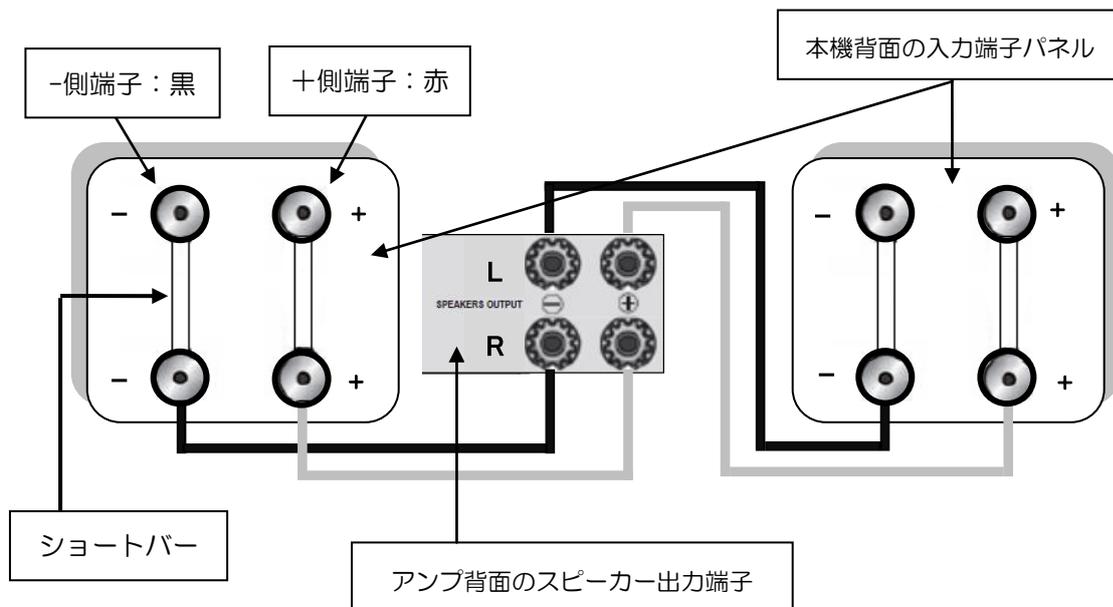
※極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になります。正しく接続してください。

※スピーカーケーブルの芯線どうしを接触させないでください。アンプの回路がショートし、故障の原因になります。

### ■ 1. シングルワイヤリング接続

シングルワイヤリング接続をするには、付属のショートバーでの高域用入力（上段）と低域用入力（下段）を結合します。図のように、ショートバーを使用して高域用端子と低域用端子を短絡させ、アンプからの(+)コードをスピーカーのいずれかの赤の端子に、(-)コードをいずれかの黒の端子に接続します。

※ショートバーが付いていることを確認してください。



## ■2.バイワイヤリング接続

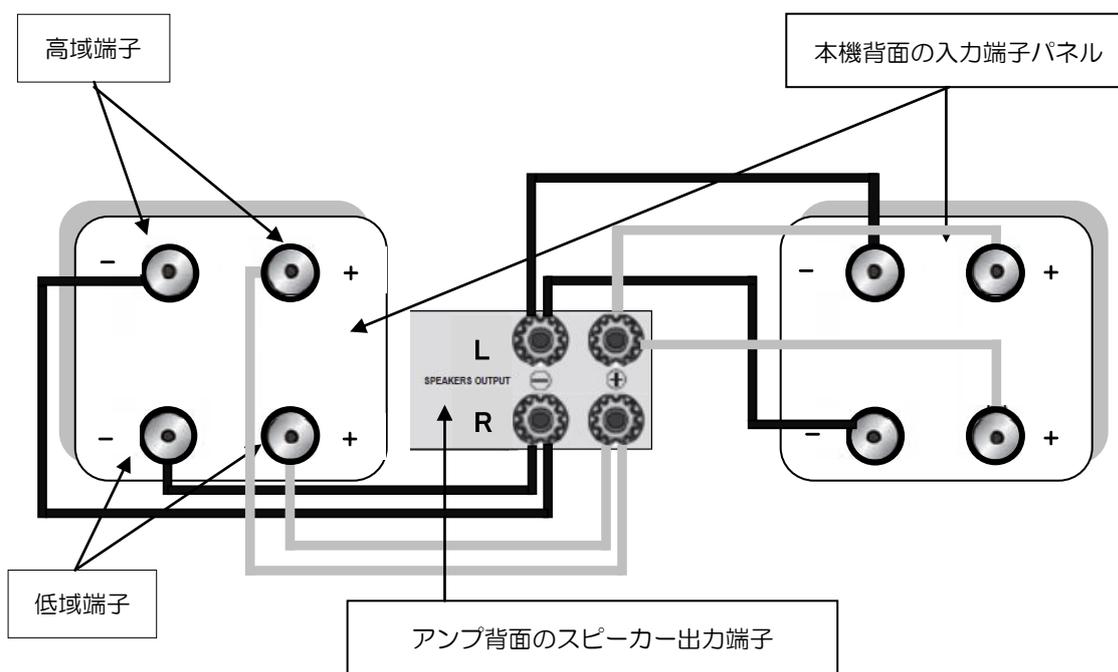
スピーカーの入力端子および回路は、高域用（上段）と低域用（下段）が分離独立しているバイワイヤリング接続対応方式です。そのため、高域と低域の音声信号の干渉を低減し、より高音質な再生をお楽しみいただくことができます。

※ 本機1台につき2本の接続コードをご用意ください。

※ すべての端子をゆるめ、ショートバーをはずしてください。

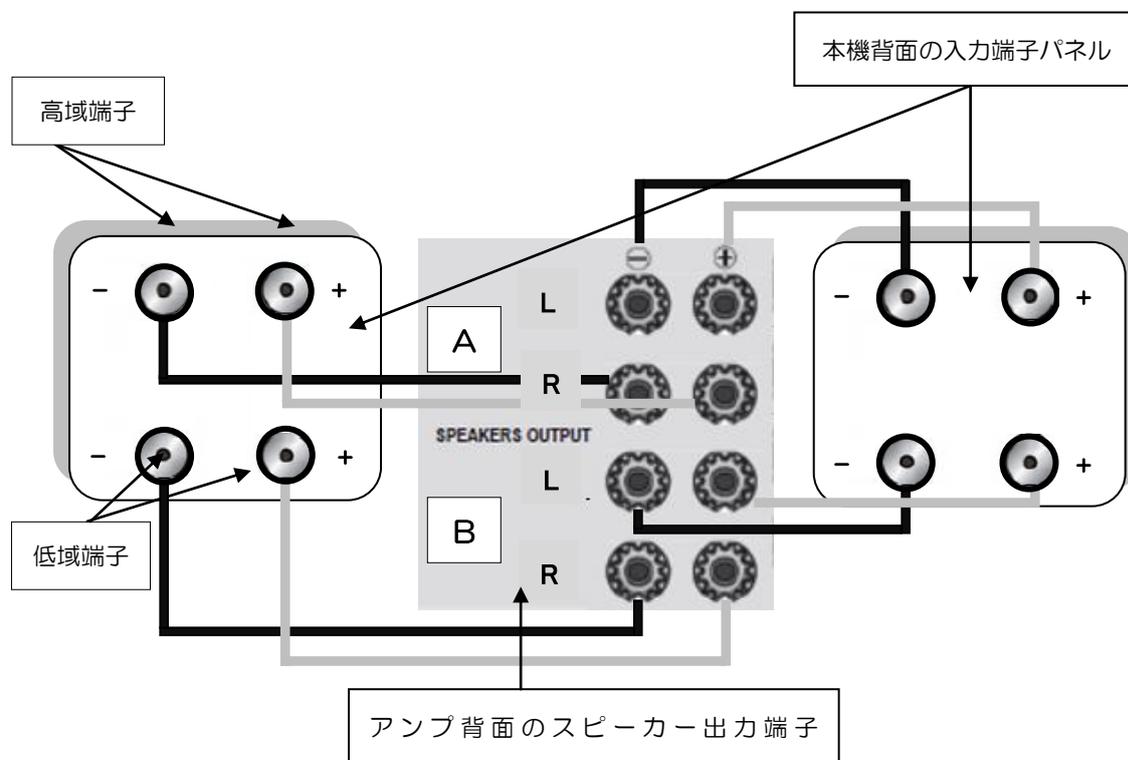
### ・スピーカー出力が1系統のみのアンプとの接続

出力が2系統あっても、AとBを同時に出力できないアンプや、2つの系統が直列接続になるアンプもこの方法で接続してください。



## ・スピーカー出力を2系統 (A+B) 持つアンプとの接続

スピーカー出力切り替えスイッチを「A+B」にします。



★アンプの出力レベルが異なると、高音または低音のみが強調され、最良の音質バランスが得られない場合があります。

## ●グリルネットの外し方

スピーカー前面のグリルネットは、取り外すことができます。  
取り外すときは、グリルネットの両側を持って手前に引いてください。  
取り付けるときは、グリルネットの突起とキャビネットの穴部を合わせて押し込んでください。

## ●保証とサービスについて

1. この商品には保証書が添付されております。保証書には、保証規定が記載されておりますのでよくお読みください。  
再発行はできませんので大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により修理を申し受けます。但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。
3. 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。
4. 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

※その他、製品のお問い合わせやご不明な点については、お客様ご相談窓口にご連絡ください。

※このスピーカーは、日本国内のみに保証が適用されます。

### ステレオ音のエチケット



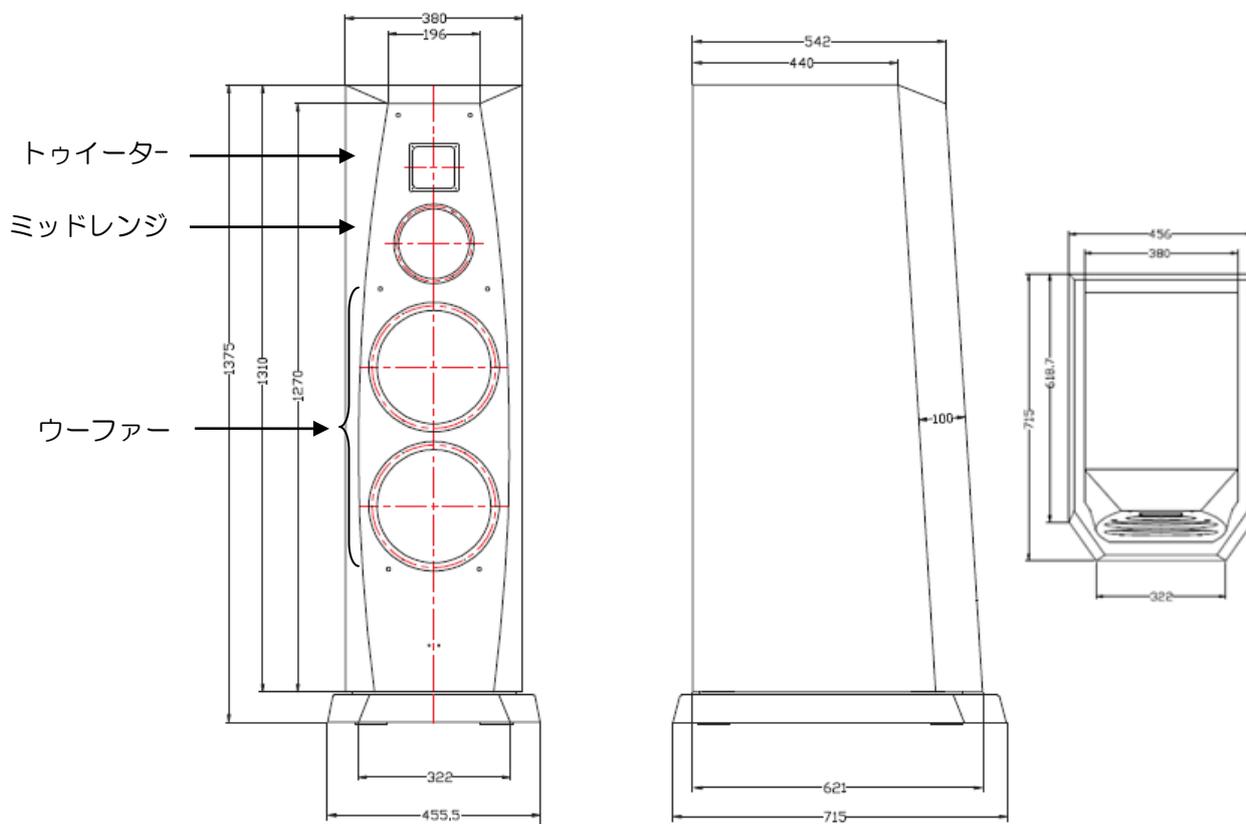
音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

## ●仕様

型式	3ウェイ位相反転式フロア型
ウーファー	25cm ハニカム構造振動板コーン型×2
ミッドレンジ	16cm セラミック振動板コーン型×1
トゥイーター	3cm セラミック振動板逆ドーム型×1
周波数帯域	28Hz～40kHz
クロスオーバー周波数	190Hz、2.2kHz
適合アンプ出力	40～400W
出力音圧レベル	89dB (w/m)
公称インピーダンス	4Ω
寸法	455.5 (W) × 715 (D) × 1375 (H) mm
質量	119.0Kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。



## お客様相ご談窓口

 0120-232-765

受付時間 10:00～17:00

(土日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

IP 電話などフリーダイヤルをご利用頂けない場合

TEL 03-5850-6817(有料)

FAX 03-5850-6810(有料)

**CAVジャパン株式会社**

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-48-5 光陽社ビル 6F

DX-8-11.11.15K

